

# 筆記試験

## 交通法規（40問）

解答用紙に正しいと思うものについては の欄に、誤っていると思うものについては×の欄にマークを付けて下さい。

1 . 道路の曲がり角付近では、見通しがよくても徐行しなければならない。

2 .  図の標識は、車両の駐車禁止を示している。

3 . 前方の信号機の表示する信号の灯火が黄色の点滅のとき、車両や路面電車は、停止位置において一時停止しなければならない。

4 . 勾配の急な下り坂では追い越しは禁止である。

5 . 自動車は道路上に駐車する場合、同じ場所に引き続き 12 時間以上（夜間は 10 時間以上）駐車してはならない。

6 .  図の標識は、一方通行であるという意味を示している。

7 . 車両は他の車両を追い越すときは、原則として、その車両の右側を通行しなければならない。

8 . 交通整理の行われていない道幅が同じくらいの交差点では、左方からくる車両の進行を妨げてはならない。

9 .  図の標識のある道路では、普通乗用自動車の通行止めを意味しているので大型貨物自動車は通行することができる。

10 . 見通しが悪い交差点では、道路標識等による警笛の使用の指示が無い場合でも、必ず警音器を鳴らさなければならない。

11. 大型自動車の左折は困難なため、明らかに余裕がある場合なら、左折の直前に車の前部を右に振るとよい。
12. ガソリンスタンドから歩道等を横断し道路に出るときは、店員の誘導がある場合でも、必ず一時停止し、歩行者の通行を妨げないようにしなければならない。
13. 構内など道路外で車両を運転中に人を死傷させた場合でも、運転免許の取消しや停止等の行政処分の対象となる。
14. 車両の運転者は、右左折をしようとするときは、右左折する地点から 15 メートル手前の地点に達したときには合図を行わなければならない。
15. 運行記録計を備えなければならないこととされている自動車で、運行記録計の故障等によりその記録ができない場合、その自動車を運転させてもよい。
16. 交差点の側端又は道路のまがりかどから 5 メートル以内の場所は、駐車も停車も禁止されている。
17. 危険を避けるためやむを得ない場合を除き、「高齢者マーク」や「初心者マーク」を付けて走行している車の側方に幅寄せをしたり、前方に無理に割り込んではいならない。
18. 高速自動車国道で登坂車線のあるところでは、すべての大型貨物自動車はその車線を通行しなければならない。
19. 後方の車両は、前方を走行中の車両が更に前方の車両を追い越そうとしている時には、追越しを始めてはならない。
20. 車両通行帯が黄色の実線で区画されている場所でも、緊急自動車を避譲するためであれば、この線を越えて進路を変えることができる。

21. 大型貨物自動車については、高速自動車国道において、追い越し時に限り、時速 100 キロメートル毎時で走行してもよい。
22. 車両等の運転者は、危険を防止するためやむを得ない場合を除き、急に停止したり急ブレーキをかけてはならない。
23. 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に 10 メートル以内の部分では駐車及び停車することができない。
24.  図の標識のある片側 2 車線以上の自動車専用道路では、重被牽引車を牽引している牽引自動車は、一番左側の通行帯を通行しなければならない。
25. 車両とは、自動車、原動機付自転車、軽車両及びトロリーバスをいう。
26. 交差点又はその附近において、緊急自動車が近づいてきたときは、車両（緊急自動車は除く。）は交差点を避け、徐行して、道路の左端に寄って進路を譲らなければならない。
27. 車両等が、踏切を通過しようとする場合に、遮断機が閉じようとしているときや、閉じている間又は警報機が警報している間は、踏切内に進入してはならない。
28. 警察官から停止するように命じられた場合でも、駐停車禁止場所では、一時停止することができない。
29. 積載物は自動車（大型自動二輪車及び普通自動二輪車を除く。）の車体の前後から自動車の長さの十分の一の長さまでは、はみ出して積載しても良い。
30. 車両等は、その直前の車両等が急に止まっても、これに追突しないように安全な車間距離をとって走行しなければならない。
31. 車両総重量 2,000 キログラム以下の故障車などを、その 3 倍以上の車両総重量の車両でロープ等を用いて牽引して道路を通行するときの最高速度は 40 キロメートル毎時である。

32. 目的地の警察署長の許可を受けたときは、貨物自動車の荷台に人を乗せて運転することができる。
33. 車両等が、横断歩道を通しようとする際には、横断歩道附近に歩行者又は自転車がいな  
いことが明らかでない場合には、徐行しなければならない。
34. 故障車の車輪を上げないで牽引するときは、牽引する自動車と故障車との間を 5 メートル  
を超えないこととし、かつ、ロープなどの見やすいところに 0.3 メートル平方以上の白い布  
をつけなければならない。
35.  図の標識のある道路では、自動車を追越すために道路の右側部分にはみ出しては  
ならないが、原動機付自転車を追越すためであれば、道路の中央から右の部分に  
はみ出して通行してもよい。
36. 車両等の交通による人の死傷又は物の損壊があったときは、当該車両等の運転者その他の  
乗務員は、直ちに車両等の運転を停止して、負傷者を救護し、事故が続いて発生しないよう  
に措置を取らなければならない。
37. 警察署長の許可を受けて歩行者用道路を通行中、歩行者が全くいなかった場合には、徐行  
せず安全を確認しながら通行してもよい。
38. 車両は、同一の方向に二つの車両通行帯があるときは、左側の車両通行帯を通行しなけれ  
ばならない
39. 一般道路での法定最高速度が 60 キロメートル毎時の車両は、全て高速自動車国道の本線  
車道を 100 キロメートル毎時で走行できる。
40. 車両等は、昼間でも、トンネルの中や濃い霧の中などで 50 メートル（高速道路等では 200  
メートル。）先が見えないような場所を通行するときは前照灯をつけなければならない。

# 筆記試験

## 構造機能（20問）

解答用紙に正しいと思うものについては の欄に、誤っていると思うものについては×の欄にマークを付けて下さい。

41. 自動車の後面に備える尾灯であって、最外側にあるものの照明部の最外縁は、自動車の最外側から 400 ミリメートル以内となるよう取り付けられていなければならない。
42. 事業用貨物自動車は、1日1回、日常点検を行わなければならない。
43. 自動車（三輪自動車を除く。）は、空車状態及び積車状態におけるかじ取り車輪の接地部にかかる荷重の総和が、それぞれ車両重量及び車両総重量の 20 パーセント以上でなければならない。
44. 自動車の前面ガラスの下部に置いてある、いわゆる「装飾板」は固定されていなければ保安基準違反とはならない。
45. 自動車に備える非常点滅表示灯は、そのすべてが同時に作動する構造であり、かつ、毎分 60 回以上 120 回以下の一定の周期で点滅するものでなければならない。
46. 自動車に備える非常信号用具は、自発光式のものであり、夜間 200 メートルの距離から確認できる赤色の灯光を発するものでなければならない。
47. 前部霧灯は、同時に 3 個以上点灯しないよう取り付けられていなければならない。
48. 事業用貨物自動車の点検整備記録簿は、当該自動車が所属する営業所等に備え置きしておけばよい。

49. 自動車は空車状態において、長さ（セミトレーラにあっては、連結装置中心から当該セミトレーラの後端までの水平距離。）12メートル、幅2.5メートル、高さ3.8メートルを超えてはならない。
50. 警音器の警報音発生装置は、音の大きさ及び音色が運転者席で容易に変化することができるものであってはならない。
51. 自動車の運転に際して操作を必要とする始動装置、クラッチ、制動装置の操作装置等の操縦装置は、かじ取りハンドルの中心から600ミリメートル以内に配置され、運転者が定位置において容易に操作できるものでなければならない。
52. 貨物の運送の用に供する普通自動車であって車両総重量が8トン以上のものの後面には、大型後部反射器を備えなければならない。
53. 自動車に備える制動灯は、灯光の色が赤色であり、昼間にその後方50メートルの距離から点灯を確認できるものであればよい。
54. 液体の圧力により作動する主制動装置は、制動液の液量がリザーバ・タンクのふたを開けずに容易に確認できるものでなければならない。
55. 自動車に備える番号灯は、その灯光の色が白色又は淡黄色であり、夜間後方20メートルの距離から自動車登録番号標等の数字等の表示を確認できるものでなければならない。
56. 自動車に備える後写鏡は、容易に方向の調節をすることができ、かつ、一定の方向を保持できる構造でなければならない。
57. 自動車の前面の両側に備える車幅灯は、夜間にその前方200メートルの距離から点灯を確認できるものであればよい。
58. 自動車に備える後退灯は、灯光の色が白色であり、取付個数は3個以下でなければならない。

59. 貨物の運送の用に供する普通自動車で、車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の自動車に備える速度抑制装置は、自動車が100キロメートルを超えて走行しないよう燃料の供給を調整し、かつ、自動車の速度の制御を円滑にできるものでなければならない。
60. 自動車には、反射光の色が赤色である反射器であって前方に表示するものを備えてはならない。

# 筆記試験

## 運転常識（30問）

解答用紙に正しいと思うものについては の欄に、誤っていると思うものについては×の欄にマークを付けて下さい。

61. カーブや交差点を曲がる時に自動車に働く遠心力は、速度に比例して大きくなるため、速度が2倍になると遠心力も2倍になる。
62. 貨物自動車運送事業者の運転者の連続運転時間は5時間を超えないものでなければならない。
63. 走行中に万が一パンクをした場合は、ハンドルをしっかりと握って車の方向を直すとともに、急ブレーキをかけず、断続的にブレーキを踏んで道路の左端に車を停止させるのがよい。
64. 警察官が行う酒気帯び検査を拒否した場合には、30万円以下の罰金が適用される。
65. 一般的に自動車の内輪差は、ホイールベースが長い車ほど大きくなる。
66. 事業用貨物自動車の運転者は、運行指示書を携行して運行している場合において、当該運行指示書の記載事項に変更が生じた場合、携行している運行指示書に当該変更の内容を記載しなければならない。
67. 濃霧のときは、ガードレールやセンターライン、前車の尾灯などを目安にするとともに、前照灯は上向きにして走行するのがよい。
68. タイヤの空気圧は、低いと燃費等が悪くなり、高いとバースト等安全上問題生がじるといわれている。空気圧の点検は、タイヤが冷えた状態で行い、適正な空気圧の管理が必要である。
69. 同じ速度であっても昼間は夜間より遅く感じる人が多いので、速度の設定には、注意が必要である。

70. 運転者が一の運行で最初の勤務を開始してから最後の勤務を終了するまでの時間は 144 時間を超えてはならない。(フェリーに乗船した場合の休息期間を除く。)
71. ウェア・インジケータは、タイヤの空気圧をはかるものである。
72. 暗いところから急に明るいところに出ると、最初はまぶしくてよく見えないが徐々に見えるようになる。これを「明順応」という。
73. 乗務記録に貨物の積載状況を記録しなければならないのは、車両総重量が 8 トン以上又は最大積載量が 5 トン以上の事業用貨物自動車に乗務した場合である。
74. 過積載車両は定積載車両に比べて、踏力が同じであればブレーキをかけたときの停止距離が長くなる。
75. 自動車や原動機付自転車の走行中に、携帯電話等を手に持って、通話したり、メールの送受信等のために画像を注視した者は、罰則が適用される。
76. 一般に自動車のサイドミラーには運転席からは見えない死角部分があり、左折時などに二輪車を見落とす場合がある。
77. 高速運転をした場合、視野が広くなり、周りのものが見えやすくなる。
78.  左に示した貨物物の荷扱い指示マークは、「ハンドトラック差込み禁止」を示している。
79. 平成 16 年の全国の交通事故死者数(24 時間死者数)は、平成 15 年より、増加している。
80. 酒酔い運転で人身事故を起こし、刑法第 208 条の 2 の「危険運転致死傷罪」が適用されると、5 年以下の懲役となる。

81. 大規模地震が発生した場合、避難のために車を使用しないようにするべきである。
82. 事業用貨物自動車の運転者は、当該自動車での乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告しなければならない。
83. トラックの運転席は乗用車に比べて高い位置にあり視界が広い。反面、運転者は前方を上から見下すような視野になり、前車との車間距離は短く感じやすく、実際の車間距離が長くなる。
84. 事業用貨物自動車の乗務員は、偏荷重が生じないように貨物を積載しなければならない。
85. ディーゼル車は、走行中にアクセルペダルを離しエンジンブレーキの状態になると、エンジンへの燃料供給がカットされる。
86. ハイドロプレーニング現象は、高速走行中にタイヤが波を打つことにより起きる現象である。
87. 事業用貨物自動車の乗務員は、故障等により踏切内で運行不能になったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとらなければならない。
88. 偏平チューブレスタイヤの表示「245 / 70R19.5 136 / 134J」の「70」は、速度表示をあらわしている。
89. エコドライブを実践することにより、排出ガスの抑制、事故防止、経営コスト削減などの効果が期待できる。
90. トラックは、オーバーハングが大きいいため、右折時にタイヤの軌跡の外側を車体の後部が通るため、後続車と接触することがあるので注意が必要である。

## 第37回全国トラックドライバー・コンテスト 筆記試験問題解答

交通法規	
番号	解答
1	
2	×
3	×
4	
5	×
6	×
7	
8	
9	×
10	×
11	×
12	
13	
14	×
15	×
16	
17	
18	×
19	
20	
21	×
22	
23	
24	
25	
26	×
27	
28	×
29	
30	
31	
32	×
33	全員正解
34	
35	×
36	
37	×
38	
39	×
40	

構造機能	
番号	解答
41	
42	×
43	
44	×
45	
46	
47	
48	×
49	
50	
51	×
52	×
53	×
54	
55	×
56	
57	×
58	×
59	×
60	

運転常識	
番号	解答
61	×
62	×
63	
64	
65	
66	
67	×
68	
69	×
70	
71	×
72	
73	
74	
75	
76	
77	×
78	×
79	×
80	×
81	
82	
83	×
84	
85	
86	×
87	
88	×
89	
90	